



・・・相武台地区・・・

相武台地区は、大規模な集合住宅が多いため、区内で最も人口密度の高い地区です。ふるさとまつり、盆踊り大会、どんど焼きに加え、相武台芸術祭など、地域の方々が触れ合うことのできる場づくりが地域の人々の協力により実施されています。

相武台地区優秀賞



【撮影者】小山 仁

【タイトル】背比べ

【撮影場所】そあら（相武台公民館）

【コメント】街路樹同士とマンションの高さを電線で比べているように感じた写真

審査員寸評

相武台地区には大規模の集合住宅街がありますが、今回まさしく紅葉した街路樹と地域環境を示す建物をうまく対峙させた作品に出会うことができました。撮影者の表現のうまさに感心させられました。光は画面右上から差し込んでいますが、光量を十分に取り込んでいるため全体に柔らかい感じで仕上がっているところが強みです。

【撮影者】武 典子

【タイトル】シャボン玉飛んだ

【撮影場所】相武台

【コメント】私の住む相武台に寮の跡地があり、孫と一緒に遊びに行き、シャボン玉を飛ばした折に撮影しました。孫も私もとても楽しむ事ができました。





【撮影者】武典子

【タイトル】壁穴のお花畑

【撮影場所】相武台

【コメント】私の住む相武台に寮の跡地があります。道路際に壊されずに残っていた壁に円形の穴があり、そこから覗いた景観です。空地に咲いた花ですが、まるで公園のお花畑のようでした。

【撮影者】高橋 玉江

【タイトル】落ち葉の散歩道

【撮影場所】新磯野

【コメント】レンガ敷きで緑の豊富な遊歩道は、私のいつもの散歩道です。ふと気づくとたくさんの葉が落ちていました。これからは日に日に、その量も多くなっていく事でしょう。秋の深まりを感じながらの今日の散歩です。



【撮影者】小峰 伊津子

【タイトル】青空に映えるバラ

【撮影場所】相武台3丁目

【コメント】無機質な防犯灯の近くに咲く満開のバラが青空に映え、堂々と立っている防犯灯との対比。共存共栄。その美しさを際立たせているかのように感じられた。



【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】分かれ道

【撮影場所】相武台

【コメント】その昔、相武台地区には小川が流れていたらしい。その名残だろうか、この辺りは窪地になっていて急坂がある。右手を上がると相模原市南区に出て、左手を上がると座間市に出るようだ。この階段は正に分かれ道。真ん中の家はどちらに属するのかと余計な心配をしてしまう。



【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】春の雪景色

【撮影場所】新磯野グリーンパーク緑道

【コメント】桜が満開になった三月の末に、突然大雪が降った。さぞかし桜も寒いだろうなと気掛りで、近所の緑道へ行ってみた。満開の桜は湿った雪を冠り、重みで枝先を垂れ始めていた。深深と降る雪に緑道には人っ子一人おらず、春の色淡いピンクが雪の白さに紛れて一段と淡くなっていた。

【撮影者】福井 和子

【タイトル】過ぎしものへの誘い

【撮影場所】相武台1丁目

【コメント】相武台駅前の行幸通りから西へ2筋入った通りにある古本屋さん。このお店を見つけたとき、懐かしい時代にタイムスリップした気持ちになりました。店内には、過ぎし時代の手触りがふんわりと並んでいて、本の持ち主だった人のことを想像したり、関心のなかった本にも目を留めたり、いい時間を過ごしました。過ぎし良きものへと誘ってくれる書店です。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】福井 和子

【タイトル】街の灯

【撮影場所】相武台1丁目

【コメント】一気に暮れてゆく秋の夕方、住宅の多い地域にこの2店舗の灯が温かく輝いていた。お肉屋さんには次々に買い物客が訪れている。書店は、この時間帯はひっそりしていたが、古書好きの常連さんたちがきつといることだろう。両店舗ともに40～50年前に開業したとか。大型店が近くの駅前にあるが、個人商店の味わいを地域の方たちは知っているようだ。

【撮影者】摺元 正憲

【タイトル】お花見は近場で！

【撮影場所】新磯野4街区付近

【コメント】近所の雨水調整池は普段開放されていて、桜の時期には垂れ下がった枝が千鳥ヶ淵を彷彿とさせてくれる。



【撮影者】長谷川 栄一

【タイトル】大島桜満開の新磯野公園

【撮影場所】新磯野4丁目 新磯野公園の大島桜

【コメント】白い大島桜満開の公園での写真です。青空に桜の白い花が映えるのを見て感動しました。

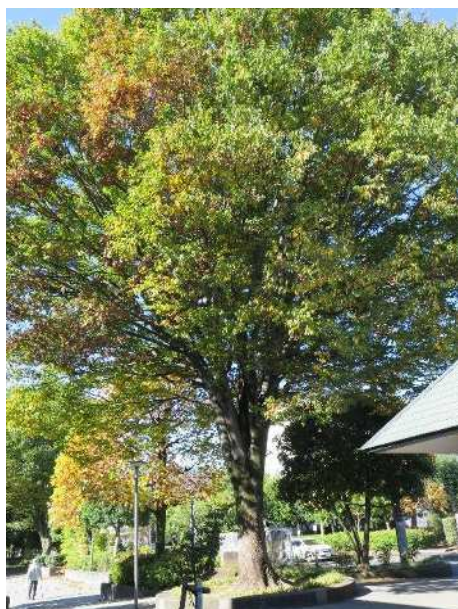


【撮影者】長谷川 栄一

【タイトル】春なのに

【撮影場所】新磯野4丁目 新磯野公園

【コメント】近くの新磯野公園の桜が咲いている時に雪が降ってきたので、異様な景色と思い写真を撮りました。



【撮影者】納谷 フサ子

【タイトル】大樹

【撮影場所】新磯野4丁目

【コメント】当地に居住して40年余り、共に生きた証。

【撮影者】納谷 フサ子

【タイトル】今年の公園

【撮影場所】新磯野公園

【コメント】遊ぶ子等の姿も無く、微動だしない日々が日常となった。





【撮影者】平木 連

【タイトル】春の小公園

【撮影場所】相武台団地

【コメント】私が住む相武台団地の中心部に位置する中央公園は、周りに多くの桜の木が植えられ、そして運動や遊戯用の器具も設置されて、住民から親しまれている憩いの場になっているものですが、この写真は、この公園に設置されている色鮮やかな模型機関車と、これに乗って遊んでいる子どもたち、そしてこれに覆いかぶさるように咲いている枝のコンビネーションを狙って撮ったものです。

【撮影者】廣田 孝子

【タイトル】雨上がりのシルエット

【撮影場所】新磯野公園

【コメント】雨上がりの公園に出来た大きな水たまりに夕暮れ時の空が映り込んでいました。美しい景色が水面に広がり、影絵の世界に迷い込んだようなひとときでした。



【撮影者】廣田 孝子

【タイトル】夏の一驚

【撮影場所】緑台小学校

【コメント】夏の夕暮れ。散歩中に突然空に現れた巨大な雲にビックリ！あまりの美しさに恐ろしささえ感じながら撮影しました。



【撮影者】佐藤 康子

【タイトル】新しくなった隧道

【撮影場所】相武台

【コメント】数年かかって相武台 新戸道路、米軍キャンプを突き抜ける隧道が通り易くなり、利用者も助かっています。



【撮影者】小山 仁

【タイトル】現実から離れて

【撮影場所】新磯野デイサービスから相武台中学校を撮影

【コメント】勤務時間を終え、残業へ向かう時に目にした風景が遠くへ旅行に行きたい気持ちと仕事を頑張る気持ちに向けてもらった写真

【撮影者】相武台の商店会を応援する人

【タイトル】ほのぼのマルシェ

【撮影場所】相武台団地商店会

【コメント】商店会と地域活性化のため、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上でイベントを実施する姿に胸が熱くなり、その様子を撮影しました。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】近藤 広美

【タイトル】銀杏並木

【撮影場所】相武台小学校前の歩道

【コメント】信号待ちをされていて、小学校の色づいた銀杏並木に目がいききました。見事なグラデーションでした。たくさん子ども達の成長を見守ってきた銀杏の木々に歴史を感じました。